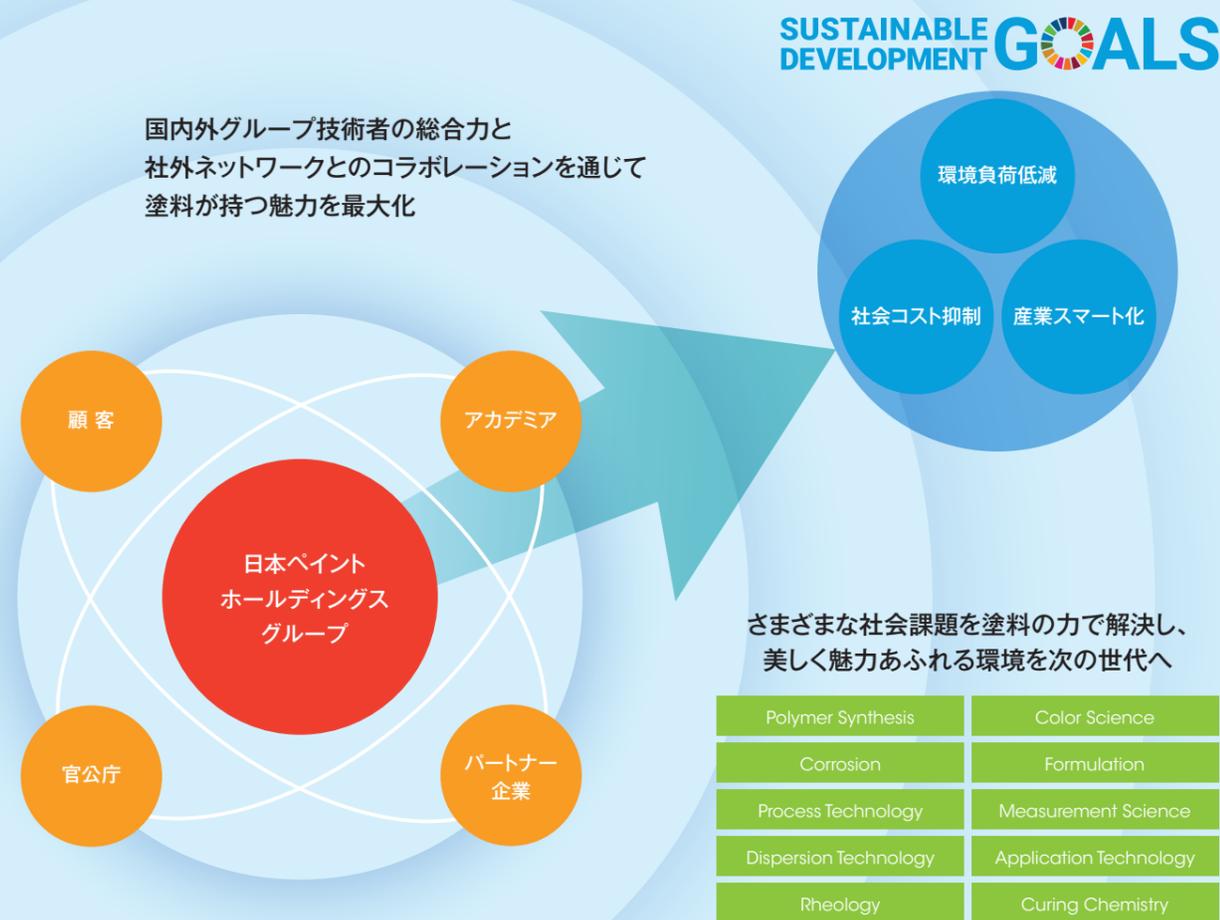


研究開発

塗料の力で未来の革新を目指す、 当社グループのイノベーション創出活動

研究開発方針

社会課題の解決を見据えたR&Dの強化



当社のR&Dでは、塗料が持つ魅力を技術の力で最大化し、さまざまな社会課題を解決することを目指して、国内外グループ技術者の総合力と社外ネットワークとのコラボレーションを強化する取り組みを進めています。例えば全世界にあるパートナー企業の技術部門や研究部門との親密な情報交換や共同研究、サプライヤーや顧客、大学・研究機関などのアカデミアとの積極的なオープンイノベーション活動、官公庁を巻き込んだ

戦略的な技術開発などを進めることで、これまでにない革新的なソリューションを世の中に提供していこうとしています。国内にいる1,000人の技術者、またグローバルパートナーの技術者たちがいかに輝けるかが経営上の大きなテーマであると考えており、今後もさまざまな機会を模索していきます。また、そうした技術陣が作る塗料の魅力も積極的に発信していきます。

TOPICS

各事業会社からR&D人材を集め「商品開発室」発足

2020年5月、各事業会社から優秀なR&D人材を集結させて、「塗料技術・コーティング技術・表面処理技術など、当社が有する全ての技術を駆使すると共に、大学・研究機関・他社とも必要な連携関係を結び、社会課題の解決に資する商品を開発する」という使命を持つ、「商品開発室」を発足しました。

新型コロナウイルスの感染拡大による社会不安に対して、感染リスクが想定される生活シーンを見極めた抗ウイルス製品の開発を最優先課題に位置付け始動しました。この専門チームを中心に、「新しい生活様式」において、人々の生活に安全・安心を提供し、社会機能を維持することを目指した研究開発を加速させています。また、開発された新商品は、直ちに生産、流通、販売の過程を経て最終需要者にお届けしなければならないため、各事業会社との協働が必須です。全社機関として設置された抗ウイルス製品開発技術会議を通じて、それらの活動状況をモニターしながら、「全社プロジェクト」として社会課題の解決に取り組んでいます。

今後、東京大学との産学協創活動なども活用しながら、抗ウイルス・抗菌内装用塗料「パーフェクト インテリア エアークリーン」に次ぐ、革新的な抗ウイルス製品を次々と社会に導入していく予定です。新型コロナウイルスの感染拡大抑制を含む新たな社会課題の解決に真っ向から立ち向かい、社会貢献を果たしていくと同時に、新たな事業機会を先回りして捉えることにより、持続的な事業拡大・成長への貢献を両立していきます。



東京大学との産学協創協定締結

2020年5月18日、当社と東京大学は両組織の包括的な共同研究および人材交流を、高度なレベルで推進する産学協創協定を締結し、東京大学大学院工学系研究科に社会連携講座「講座名：革新的コーティング技術の創生」の設置を決定しました。協定期間は2020年10月1日から2025年9月30日までの5年間、合計10億円規模の協創資金を投入し、「塗料とコーティング」を軸に、抗ウイルス技術を含む新型コロナウイルス感染症の拡大防止に資する技術や、感染拡大が終息した後に訪れる新たな社会の課題解決に向けた技術の実現に注力します。また、スマート・リモート社会の基盤づくり、ならびに美しく魅力あふれる持続可能型社会を紡ぐための新たな技術を提供してまいります。



写真右：田中 正明
日本ペイントホールディングス株式会社 取締役会長
代表執行役 社長 兼 CEO
写真左：五神 真 国立大学法人東京大学 総長